

臨床研究のお知らせです

研究課題名

補助循環関連の離脱・生存に関与する要因分析

研究期間

2001年1月1日 から 2030年3月31日まで

研究の目的・方法

心停止患者や心拍出量が低下している患者、自己肺でのガス交換能力が低下している患者の循環・呼吸維持のため補助循環装置（ECMO:extra-corporeal membrane oxygenation）が用いられる。補助循環管理下では血流も複雑になり、人工肺で酸素化を行っている。また人工物にさらされるため凝血予防のためヘパリンの持続投与を行われ、人体は非生理的環境にさらされる。管理日数も数日から数週間と長期間であるため、体内で炎症反応物質や活性酸素種が発生、出血、感染など様々な弊害を引き起こすことが知られている。今回の研究で補助循環における合併症の関連、補助循環離脱との要因を調べることが目的である。

この度、熊本赤十字病院で後ろ向きコホート研究を行う予定である。本研究から得られた成果は、補助循環装置装着患者の合併症予防に役立てられる。

研究に利用する試料・情報

熊本赤十字病院のカルテ情報を用いた観察研究（後ろ向きコホート研究）

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の名称：熊本赤十字病院

研究機関の長：平田 稔彦

研究責任者：岡留 由祐

研究に関する試料の入手・閲覧について

ご要望があれば、研究対象者様御本人あるいはご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。
2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。
3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。
4. 研究に関する個人情報は熊本赤十字病院で匿名化（個人が特定できないよう加工）された後、共同研究機関である熊本大学へ移送され、熊本大学内ではパスワード付きUSBメモリ内で管理される。
・患者名、住所情報および対応表（患者氏名・年齢・病院IDおよび研究IDのみ記載し、その他個人を識別可能な情報は削除）は熊本赤十字が管理する。

利益相反について

該当なし

お問合せ・ご相談への対応窓口

熊本赤十字病院 腎臓内科部 臨床工学課 岡留 由祐

－連絡先－ 熊本赤十字病院

〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1番1号

TEL.096-384-2111(代) FAX.096-384-3939